

補助金を利用した事業紹介

①SOI STANCE

②リヴよどえ



令和5年度 あいサポート・アートフォーラム 補助金説明会資料

事業紹介①

団体名：SOI STANCE(ソイ スタンス)

活動分野：美術(絵画、写真、立体作品など)

【事業所の紹介】

「SOI STANCE」は、米子市にある就労継続支援B型、自立訓練の事業所。リハビリ専門職を配置し機能訓練から作業分析を行いリハビリテーション、カフェの運営、軽作業、施設外就労等を行っている。就労継続支援B型から企業への就職も積極的に支援している。

【アート活動の概要と目的】

補助金の文化芸術活動促進事業を活用し、日々の制作活動を行い、個展等開催事業を活用し、年に1回展覧会を開催している。

外部講師に臨床美術士を迎え、アドバイスをもとに個々に感じる感覚、感性を引き出し、創作活動を通して自己肯定感や満足感、自己啓発を感じてもらうことを目的としている。

また、車椅子に座りながらでも創作活動ができるようにタブレット(液晶タブレット、ペンタブレット)を使用した創作活動や、絵画だけでなく写真や立体的な作品にも挑戦している。

文化芸術活動促進事業(ステップアップ型)の活動

【活動内容】

▶ 活動期間と活動頻度

8月末～1月末頃にかけて、定期的に外部講師による指導を受ける。

それ以外にも、週1回程度の創作活動の場を設けている。

▶ 外部講師の指導

臨床美術士を外部講師として迎え、令和5年度は年間7回の指導を受けた。

講師が決めるテーマのもとに制作を行っている。

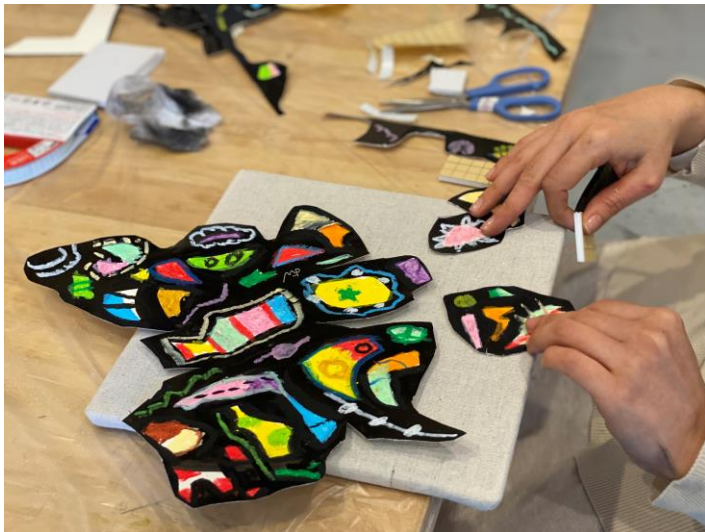
【発表・出展の目標】

▶ あいサポート・アートとっとり展

▶ 自主開催の個展

* 活動の様子 *

日々の制作活動の様子、外部講師から指導を受けている様子



個展等開催事業の活動

【活動内容】

▶日々制作している作品を展示する展覧会を年1回企画している。

【今までの展示】

▶年1回自主開催の個展

過去の展示会場 … 米子駅前イオンのフロア、日吉津イオンのイベントスペース、米子市図書館、
鳥取大学附属病院ギャラリースペース、米子市美術館

* 活動の様子 *

展覧会会場の様子



補助金の活用により活動が充実した点

- ▶ 画材等の準備がスムーズとなり、対象者の方に思う存分思いっきり描いて頂ける。
- ▶ 発表の機会が増えることで、事業所の認知度も高まり、事業所の活動を外部の方に知ってもらえるようになる。さらに、その他の様々な活動に参加させて頂けることに繋がっている。
- ▶ 展示場所の確保ができる。
無料のレンタルスペースはあるが、無料の場合は集客が難しい点もあるため、日吉津イオンのように大勢の方の目に止まる場所での開催や、米子市美術館のようにアート観賞を目的としてこられた方に観賞して頂けることはとても嬉しい。
- ▶ 対象者の方が、作品展示を通して周囲の方からのお声かけで自己肯定感が高まり、日々の活動に充実感を感じておられる。

事業紹介②

団体名:リヴよどえ音楽部

活動分野:音楽(合唱、楽器演奏)

団体名:リヴよどえ郷土芸能部

活動分野:舞台芸術(郷土芸能)

【事業所の紹介】

「リヴよどえ」は、米子市にあるNPO法人ライヴが運営する就労継続支援B型事業所。「水福連携」として海産物の製造販売、郷土芸能や音楽、演劇などの文化芸術活動とその活動発表、文化芸術活動を通じた啓発活動等を行い、差別で偏見をなくすためのメッセージを発信している。

【アート活動の概要と目的】

補助金の文化芸術活動促進事業を活用し、日々の練習やイベント出演を行い、個展等開催事業を活用し、音楽部と郷土芸能部合同で年に1回イベントを開催している。

「音楽部」では、合唱や楽器演奏などの練習をし、様々なイベントで披露している。

「郷土芸能部」では、淀江さんこ節銭太鼓の習得や舞台発表を行い、地元保存会の方を外部講師に迎え、伝統芸能の伝承に努めている。

文化芸術活動促進事業(ステップアップ型)の活動

【音楽部・郷土芸能部の活動の目的、目指していること】

障がいへの差別・偏見をとり、社会を良くしていく活動として、メンバーとも目的を共有しながらステージ発表等を行っている。リヴよどえのステージには、「仲間がいるよ。一人で抱え込まないで一緒に生きていこう。」というメッセージが込められている。

【音楽部の活動内容】（利用者20名）

▶ 活動内容

合唱、楽器演奏（タンゴドラム、カリンバ、カホン、ハンドベル）、ピアノ弾き語り、ギターデュオ

▶ 活動期間と活動頻度

6月～3月頃にかけて、月に10回（年間80回）程度練習、イベント前は週4回の練習
年12回ほどのステージ活動

▶ 外部講師の指導

合唱・楽器演奏の指導を年間8回（1回2時間のレッスン）受けている。

文化芸術活動促進事業(ステップアップ型)の活動

【郷土芸能部の活動内容】（利用者 8名、職員 3名の計11名）

▶ 活動内容

米子市淀江町に300年前から伝わる「淀江さんこ節」銭太鼓の練習と
県内外でのステージ発表

▶ 活動期間と活動頻度

6月～3月頃にかけて、週2回（1回1時間）練習。イベント前は毎日練習。

▶ 外部講師の指導

郷土芸能の指導を「淀江さんこ節保存会」の方に年間4回程度受けている。

文化芸術活動促進事業(ステップアップ型)の活動

【発表・出展の目標】 ※音楽部と郷土芸能部 一緒にステージ発表

あいサポート・アートとっとり祭、自主開催のイベント

地域のイベント、高齢者の施設、県外のイベント参加、他町村の行事（敬老会等）

視察団体来所時のおもてなしステージ など

* 活動の様子 * 音楽部、郷土芸能部の練習、ステージ出演の様子



個展等開催事業の活動

【個展等開催事業の目的、目指していること】

ステージ発表を通して、臨機応変に行動することを身につけたり、障がいによる「疲れやすい」「集中力が続かない」「緊張する」という症状を乗り越えたりすることで、メンバー自身が成長していくことを目指している。ステージを見てくださった方から「楽しかった」「感動した」などのエールをもらい、利用者の充実感・満足感にもつながっている。

【活動内容】

- ▶ 音楽部と郷土芸能部合同で毎年「リヴよどえ音楽祭」（会場：ヴィレステ）を企画し、1時間の舞台発表で日々の練習の成果を発表している。発表では、7つの演目をこなす。

県外での発表

令和4年度と5年度の活動では、これまでの活動が認められ、愛知県名古屋市で開催された「ジャパン・ミュージックブリュット・フェス」に出演した。

* 活動の様子 *

個展等開催事業「リヴよどえ音楽会」の練習と発表の様子



補助金の活用により活動が充実した点

- ▶ 各事業、外部講師の指導を受けることができ、利用者の意識も上がりレベルもアップした。
- ▶ ピアノやギター、ベースなどの楽器を購入することができ、ステージの演目も増え音楽活動の幅も広がり、ステージのレベルもアップした。
- ▶ 楽器に携わったことのない利用者でも楽器演奏に参加できる人が多くなり演目が増えた。
- ▶ 音響に必要な機材が揃えられたので、どんな会場・イベントでも裏方から演者まで自分たちでこなせるようになった。
- ▶ 使用頻度の高い消耗品（マット、ラジカセなど）の買い替えができ、助かっている。
- ▶ 郷土芸能のステージで古典的な衣装を身につけることで、利用者のモチベーションが上がり満足感が増した。
- ▶ 衣装の種類を増やすことができ、イベント内容や開催場所、開催時期に合わせて、衣装を変更でき表現に幅が広がった。